

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社

上場取引所

東・札

コード番号 2270

URL <https://www.meg-snow.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 雅俊

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 左柄 正典

(TEL) 03-6859-1466

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	155,129	1.8	3,678	5.8	4,026	△6.4	14,539	62.0
2026年3月期第1四半期	152,395	△0.0	3,476	△39.7	4,300	△32.4	8,976	70.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期14,122百万円(228.5%) 2026年3月期第1四半期4,299百万円(△51.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	240.58	—
2026年3月期第1四半期	137.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	421,598	247,282	57.9	4,058.98
2026年3月期	426,820	240,741	55.7	3,923.36

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 244,148百万円 2026年3月期 237,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	323,000	4.5	9,700	5.7	10,100	△4.7	17,400	54.2	289.65
通期	645,000	4.7	21,000	15.0	21,800	6.4	24,500	△25.5	413.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	63,835,455株	2026年3月期	63,835,455株
2027年3月期1Q	3,685,344株	2026年3月期	3,258,094株
2027年3月期1Q	60,436,091株	2026年3月期1Q	65,365,265株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これにより、2027年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式取得の影響を考慮して記載しております。

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は2026年8月7日（金）にアナリスト、機関投資家向けの説明会を開催する予定です。
この説明会で使用する資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

(補足説明資料)

2027年3月期 第1四半期 決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかに回復しています。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される一方、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響にも引き続き注意が必要です。

このような状況において、当社グループは2025年5月に発表した経営計画「Next Design 2030」に基づき、「雪印メグミルクアセットの大変革」をテーマとして、事業戦略の4つの柱である「成長の果実の育成と収穫」「乳の産業価値を高める構造の変革」「リジェネラティブな酪農の実現」「社会とのつながりの進化」に取り組んでおります。

計画2年目となる2026年度は「Next Design 2030」に掲げる施策の展開を本格化し、成長戦略を着実に前進させる重要な一年と位置付けております。また、2026年度の経営方針を「BEYOND BORDERS.」と定め、「グループの変革」と「個人の進化」を両輪として、「Next Design 2030」の達成に向けた取組みを一層推進し、持続的な成長と着実な成果の創出を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては次のとおりです。

売上高は、乳製品セグメント、飲料・デザート類セグメントおよび飼料・種苗セグメントのいずれも前年同期を上回ったことから、155,129百万円(前年同期比1.8%増)となりました。営業利益は、各種コストアップに対応して前年に実施した価格改定効果が寄与し、3,678百万円(前年同期比5.8%増)となりました。経常利益は4,026百万円(前年同期比6.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に本社移転に伴う固定資産売却益の計上などにより、14,539百万円(前年同期比62.0%増)となりました。

セグメントごとの当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、機能性食品、粉ミルク等の製造・販売が含まれております。

売上高は64,957百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は1,380百万円(前年同期比20.7%減)となりました。

(売上高の状況)

バターは、前年7月の価格改定前の一時的需要増の反動などにより、前年同期を下回りました。

油脂は、市場の需要低迷等の影響を受け、前年同期を下回りました。

チーズは、各種プロモーション活動や店頭での露出強化等により、前年同期を上回りました。特に、主力の「さけるチーズ」は、購買層の拡大に向けたプロモーションを積極的に展開したことなどにより大きく伸長し、売上拡大に寄与しました。

(営業利益の状況)

各種プロモーション活動を積極的に推進したものの、販売物量の想定以上の減少や、固定経費の増加等もあり、前年同期を下回りました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料(牛乳類、果汁飲料等)、ヨーグルト、デザート・生クリームの製造・販売が含まれております。

売上高は66,686百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は915百万円(前年同期比42.0%増)となりました。

(売上高の状況)

飲料は、機能性表示食品の「MBPドリンク」シリーズが前年同期を大幅に上回り好調に推移したことに加え、学校給食用牛乳の新規供給エリアの拡大などにより、前年同期を上回りました。

ヨーグルトは、主力の「恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト」シリーズが、前年のリニューアル発売後に実施したプロモーション効果の反動により前年同期を下回ったものの、「牧場の朝ヨーグルト」「ナチュレ恵 megumi400g」等のファミリーユース商品や、小容量タイプの「ブルーFe 1日分の鉄分 のむヨーグルト」等が好調に推移し、前年同期を上回りました。

デザート・生クリームは、デザートの主力品である「クリーム&」シリーズや「アジア茶房」シリーズが好調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。

(営業利益の状況)

コストアップに対応した価格改定を前年度に実施したことに加え、各カテゴリーの主力品が好調に推移したことなどから、前年同期を上回りました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。

売上高は13,859百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は530百万円(前年同期比11.4%減)となりました。

(売上高の状況)

配合飼料の販売物量が減少したものの、価格改定効果により、前年同期を上回りました。

(営業利益の状況)

販売物量の減少や各種費用の増加などにより、前年同期を下回りました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は9,625百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は863百万円(前年同期比89.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

区分	2026年 3月期末	2027年 3月期 第1四半期	増減金額	主な増減理由
資 産	426,820	421,598	△5,222	現金及び預金△4,384 商品及び製品4,682 土地△5,922
負 債	186,078	174,316	△11,762	支払手形及び買掛金△800 未払法人税等△7,411 賞与引当金△3,153
純資産	240,741	247,282	6,540	利益剰余金8,463 自己株式△1,503 その他有価証券評価差額金△513

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2026年 3月期 第1四半期	2027年 3月期 第1四半期	増減金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	951	△10,592	△11,544	(増加要因) 投資有価証券売却損益(△は益) 8,489 (減少要因) 法人税等の支払額の増加△10,081 固定資産除売却損益(△は益) △17,425
投資活動による キャッシュ・フロー	2,455	14,028	11,572	(増加要因) 有形及び無形固定資産の売却による収入の 増加21,258 (減少要因) 投資有価証券の売却による収入の減少△ 8,963
財務活動による キャッシュ・フロー	△15,445	△7,904	7,541	(増加要因) 自己株式取得による支出の減少10,933 (減少要因) 短期借入金の減少△4,060
現金及び現金同等物の 四半期末残高	9,060	9,612	552	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,041	9,656
受取手形、売掛金及び契約資産	84,070	84,644
商品及び製品	46,698	51,380
仕掛品	1,131	1,240
原材料及び貯蔵品	23,954	23,800
その他	6,272	5,758
貸倒引当金	△327	△318
流動資産合計	175,841	176,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,894	65,513
機械装置及び運搬具（純額）	56,802	58,793
土地	47,141	41,219
その他（純額）	18,391	17,983
有形固定資産合計	188,229	183,509
無形固定資産		
のれん	222	199
その他	7,562	7,326
無形固定資産合計	7,785	7,526
投資その他の資産		
投資有価証券	35,297	35,072
繰延税金資産	3,290	2,910
その他	16,504	16,549
貸倒引当金	△128	△133
投資その他の資産合計	54,963	54,399
固定資産合計	250,979	245,436
資産合計	426,820	421,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,965	59,101
電子記録債務	3,672	4,019
短期借入金	7,245	7,251
未払法人税等	12,828	5,417
賞与引当金	5,780	2,626
その他	38,963	37,721
流動負債合計	128,455	116,137
固定負債		
社債	15,021	15,016
長期借入金	19,446	19,246
繰延税金負債	1,014	1,829
再評価に係る繰延税金負債	3,929	3,929
役員退職慰労引当金	1	1
退職給付に係る負債	6,736	6,760
資産除去債務	2,776	2,931
その他	8,698	8,463
固定負債合計	57,622	58,178
負債合計	186,078	174,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	-	0
利益剰余金	201,607	210,071
自己株式	△8,167	△9,671
株主資本合計	213,440	220,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,693	9,179
繰延ヘッジ損益	25	28
土地再評価差額金	8,425	8,425
為替換算調整勘定	1,321	1,448
退職給付に係る調整累計額	4,760	4,665
その他の包括利益累計額合計	24,226	23,747
非支配株主持分	3,075	3,133
純資産合計	240,741	247,282
負債純資産合計	426,820	421,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	152,395	155,129
売上原価	126,783	129,119
売上総利益	25,611	26,009
販売費及び一般管理費	22,135	22,330
営業利益	3,476	3,678
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	469	92
持分法による投資利益	437	322
その他	189	164
営業外収益合計	1,110	594
営業外費用		
支払利息	88	86
その他	197	159
営業外費用合計	286	245
経常利益	4,300	4,026
特別利益		
固定資産売却益	2	17,590
投資有価証券売却益	8,490	-
その他	57	25
特別利益合計	8,550	17,615
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	215	378
減損損失	28	18
工場再編費用	-	179
その他	80	25
特別損失合計	326	602
税金等調整前四半期純利益	12,524	21,039
法人税等	3,523	6,457
四半期純利益	9,001	14,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,976	14,539

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	9,001	14,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,315	△519
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△266	122
退職給付に係る調整額	△81	△68
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	3
その他の包括利益合計	△4,702	△459
四半期包括利益	4,299	14,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,290	14,061
非支配株主に係る四半期包括利益	9	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,524	21,039
減価償却費	4,283	4,627
減損損失	28	18
持分法による投資損益 (△は益)	△437	△322
のれん償却額	29	33
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,556	△3,154
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△146	△167
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△191	74
固定資産除売却損益 (△は益)	214	△17,211
受取利息及び受取配当金	△483	△106
支払利息	88	86
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,489	-
未収入金の増減額 (△は増加)	369	101
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,814	△523
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,114	△4,605
仕入債務の増減額 (△は減少)	917	△536
その他	3,146	1,915
小計	2,350	1,265
利息及び配当金の受取額	521	137
利息の支払額	△109	△103
法人税等の支払額	△1,810	△11,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	951	△10,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△1
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	1	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,400	△6,735
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	21,261
投資有価証券の取得による支出	△4	△239
投資有価証券の売却による収入	8,963	-
敷金及び保証金の差入による支出	△6	△25
その他	△98	△232
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,455	14,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,060	-
長期借入金の返済による支出	△267	△200
社債の償還による支出	△4	△4
自己株式の取得による支出	△12,437	△1,504
配当金の支払額	△6,659	△5,980
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△133	△212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,445	△7,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	△220	82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,259	△4,386
現金及び現金同等物の期首残高	21,319	13,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,060	9,612

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式427,000株の取得を行っております。このことなどにより、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が1,503百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が9,671百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	63,973	65,515	13,208	142,696	9,611	152,307	—	152,307
その他の収益	—	—	—	—	87	87	—	87
外部顧客への売上高	63,973	65,515	13,208	142,696	9,698	152,395	—	152,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,840	19	283	4,142	3,325	7,468	△7,468	—
計	67,813	65,534	13,491	146,839	13,024	159,863	△7,468	152,395
セグメント利益	1,740	644	598	2,983	456	3,440	36	3,476

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額36百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント (注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	64,957	66,686	13,859	145,503	9,541	155,044	—	155,044
その他の収益	—	—	—	—	84	84	—	84
外部顧客への売上高	64,957	66,686	13,859	145,503	9,625	155,129	—	155,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,544	22	6	3,572	3,889	7,462	△7,462	—
計	68,501	66,708	13,865	149,076	13,515	162,591	△7,462	155,129
セグメント利益	1,380	915	530	2,826	863	3,689	△11	3,678

(注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。

3. セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。